

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスみのり			
○保護者評価実施期間	R7年1月1日 ～ R7年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数)	7人
○従業者評価実施期間	R7年1月1日 ～ R7年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年12月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者一人一人に適切な支援が行われている。	経験が豊かなスタッフが多い。	困り感は共有していく。 自分の意見だけ正しいという考えは排除し、いろいろな想像、発想を豊かに持てるよう自由な発言の場を設けて行く。
2	スタッフ同士の連携、信頼。	ムリという発想ではなく、どうすれば改善できるかという意識を持つことが出来る環境作り。 お互いを尊重し合い否定することをしないよう意識付けをしている。 人任せにしていない。（一人だけに業務が負担にならないようにしている。）	上下関係の壁をより低くしていく。 孤独な気持ちになるスタッフがいることがないように全員が見落とさない。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の設備や空間等においては限界がある。	古民家を借用しており、事業収入と家賃や駐車場の確保などの立地条件が他に見合う場所がない。	不動産会社を通じてなるべく快適に過ごせるように改修できる箇所は修繕するようにしている。
2	人員配置に余裕がない。	常にスタッフの募集をしているところだが、放課後等デイサービスという特殊な時間帯や資格など見合う人材がおらず採用に至らない。 人件費は高騰しているが報酬がそのものが上がっておらず、人件費を上げるにも限界がある。	稼働率の向上、加算等での売り上げを伸ばす。 経費の見直し。 年収の向上。
3	地域との連携。	地域とのパイプが少ない。 活動としてどのように取り組んで行くのかがわからないことが多い。	年に1回は利用者家族全員を集め、イベントを行っているがもう少し回数を増やしたり個別対応の場を増やして行く。 他事業所との情報共有。